



華やかな成人式に赤塚獅子舞もお祝いに

ゆり北

第199号 (18期第9号)

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

TEL・FAX 03(3938)9181番

発行責任者 吉 柳 俊 孝

冷蔵庫・洗濯機・テレビ・エアコン 家電リサイクルが始まります

数ある家電製品の中でも、エアコン、テレビ、洗濯機、冷蔵庫の『家電四品目』はいまやほとんどの家庭で使われており、平均十年程度で新品に買い替えられています。使用済みの家電製品は、新品を購入した時に手数料を払って販売店に引き取ってもらうか、有料粗大ごみ処理券を貼って区に収集してもらいます。現在、回収した家電製品は細かく破碎し鉄などの有価物を回収して残りは埋め立てるというケースが大半で、リサイクル率は一〇％程度といわれます。

今年四月一日から「家電リサイクル法」(正式には「特定家庭用機器再商品化法」といい、はじめに上げた『家電四品目』を対象とします)が施行されると、メーカーは自社製の廃家電を引き取り製品重量の五〇―六〇％以上を有価物(市場で売れ

品 目	現在		2001年4月1日 家電リサイクル法施行後
	粗大ゴミとして出す場合		
エアコン	室外機	1 4 0 0	3 5 0 0+収集運搬料金
	室内機	5 0 0	
テ レ ビ	20インチ以上	1 4 0 0	2 7 0 0+収集運搬料金
	20インチ未満	5 0 0	
洗 濯 機	一槽式	1 4 0 0	2 4 0 0+収集運搬料金
	二槽式	8 0 0	
冷 蔵 庫	高さ80cm以上	1 9 0 0	4 6 0 0+収集運搬料金
	高さ80cm未満	8 0 0	

る物)として取り出すことが義務づけられます。家電小売店は、家電製品を消費者から引き取り、メーカーに引き渡す役割を担います。そして私たち消費者は廃家電を処分する

きに、メーカーが決めた「処理料金」と、小売店が決める「収集運搬料金」を負担しなければなりません。「収集運搬料金」の額はまだ明らかにされていませんが三千円前後ともいわれ、冷蔵庫を例にとれば、現在粗大ゴミとして捨てている場合の四倍の費用を支払うこととなります。

「家電リサイクル法」は、使用済み家電製品の後始末をメーカーに課すことによって、地球の限りある資源の有効活用とごみの減量化を図ります。また、消費者にリサイクル費用の負担を義務づけることで消費者の意識が高まり家電製品を長く大切に使うようになり、廃家電の発生が減ると期待されています。

物を処分するにも、リサイクルするにも、多くの費用がかかります。

八年間の「火の用心」

吉田岳人君(小六)に署長感謝状

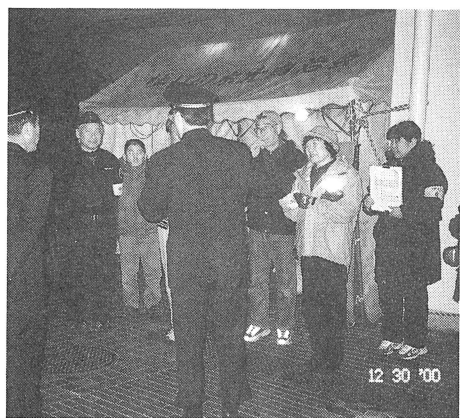
年末恒例の「歳末夜警」が、管理組合理事、自治会世話人さんのご参加をえて、十二月二十五日から三十日までの六日間行われました。ごみ置き場の放火防止や、消火設備前の迷惑駐車に対応するとともに、防犯についてもチェックをしました。

参加者は延べ七十一名(一日十二名)。初日には強風で夜警テントが吹き倒されたりしましたが、大きな事件もなく終了しました。この期間にホームレスの公衆便所への宿泊が二日ありました。十一号棟では部外者(中学生?)による飲食・飲酒・喫煙によるホール汚しが数日続て

また、連絡先の記載のない迷惑駐車が、連日十二台から二十三台ありました。団地に帰省中の方と思われるものもありますが、十四号棟東側には団地外のもの四台から七台常時駐車しているようでした。団地内での放置自転車・バイクも十二号棟自転車置き場裏や赤塚新町小北側等に数台ありました。

最終日の三十日に、志村消防署長の巡察がありました。この八年間夜警に参加している四号棟の吉田岳人君(赤塚新町小六年生)のことが話題になり、署長から感謝状を出したとの話がありました。吉田君は、保育園の時からお父さんやお姉さん

と共に夜警に参加し、ここ数年は連日休まず参加して、大きな声で「火の用心」を呼び掛けました。感謝状は赤塚新町小の三学期の始業式に贈呈されました。この模様は、「産経新聞」一月十日付けの東京版にも紹介されました。



歳末夜警、消防署長も視察

新しい家電製品の節電・節水機能、使い勝手、安全性などを考えると、古い物を長く使い続けることが必ずしも正しいとはいえませんが、売り手側の宣伝文句につられて安易に新製品に飛びつく行動は慎みたいものです。(生活環境部)

想い出に残る、雪の成人式

成人式が一月第二月曜日になって二年目。下赤塚地域では初雪のなな一月八日に赤塚公会堂で行われました。この地域の新成人は男二百三名、女百八十三名の計三百八十六名です。ゆりの木通り北住宅では、男二十名、女十九名の計三十九名でした。ゆり北の出席は八割を超えており、雪道の足元が悪いなか出席は昨年より良かったようです。

世間では成人式出席者のマナーが問題になりましたが、多少のざわつきが有ったとは言うもののまずまず



今も仲良し

の成人スタートでした。郷土芸能「赤塚獅子舞」もお祝いの席を盛り上げました。この成人式には、ゆりの木北自治会から青健・下赤塚地区実行委員の高橋、辛島、田中の三委員が受付、記念写真撮影に協力しました。

成人と言えば、代表的なものに選挙権の付与があります。ゆりの木北自治会では、赤塚新町小の投票所立会人の推薦にあたって、毎回新成人のうちから一名を推薦しています。

今年は夏にかけて、東京都議会議員選挙、参議院議員選挙が予定されています。投票立会人をやってみたいと思っている新成人の方は、自治会長までお申出下さい。

スコップあります、貸します

今年も早々と一月八日に雪が降りました。積雪量は一〇センチ程度。休日とあって通勤や通学には大きな支障になりませんでした。成人式の晴れ着のお嬢さん方は大変でした。今回も雪が小止みになった午前七時すぎから、有志の方延べ十人ほどによつて雪かきが行われました。

ゆりの木北自治会では、住棟の北側の凍結しやすい場所での転倒事故防止と保育園・学校の登・下校(園)の経路の確保を目的にして除雪を行っています。優先的に行うのは、住棟の周囲、消火栓の付近、十二号棟ピロティと階段(俗称・空中公園)、横断歩道やけやき通りの歩道などです。自治会では、除雪スコップを二十



初雪の団地風景

豊かな街づくりのために —生活環境アンケート報告・最終回—

アンケート結果の報告も今回が最終回となりました。ごみ、自転車、騒音、ペット問題と順次報告をしてきましたが、今回は生活環境全般に関わる問題について、みなさんから寄せられた意見を紹介します。

問22 最後に、「ごみ」「騒音」「ペット」「自転車」に関する問題

「ペット」「自転車」に関する問題以外の生活環境（環境美化）全般に関わる問題について、「ご意見・ご要望」がありましたら書きください。

まずは、ペランダの利用に関する件です。「ペランダで植物を栽培する際は、下の階に迷惑にならないように」「布団、毛布、シーツなどを干す場合、下の階に迷惑にならない

ように」「布団たたきのほこりが不快」「ペランダでの喫煙は近隣に迷惑になる」など、前回報告したペランダでのペット飼育による被害も含めて、生活空間としてのペランダの利用について、もう一度それぞれが考えてみる必要があるようです。

「苦情処理、問題解決のためのシステム」という意見もいただきましたが、日常生活の中に山積する諸問題の解決のためにどのような手立てが今望まれているのでしょうか。

みなさんから出された意見を集約すると、それぞれのモラルにかえされる問題や住民相互のコミュニケーションの問題など、今後の自治会活動

21世紀—新春雑感— 誓いは「前向きに」

新世紀を迎えてまず感じた事、それはまるで実感が無いという事です。二〇〇〇年を迎えた時も同じだったのですが何の希望も感慨深さも無いのです。昨年は何も思わなかったのですが今年は年を重ねる度に感動も希望も無くなつていく自分を再確認して「これではいかん！」と思い気持ちも新たに新世紀を生き抜いていこうと思っています。

今年ものんびりやろう

堀越 雅之

12/31 午後十一時、仲間と新年を迎えるカウントダウンに集まる。紅白の小林幸子の衣装をみて出かける。今年の暮れは、餅つき大会の準備で忙しかった。

1/1 新年明けましておめでとう。遅い雑煮を食べ、歳を取る。ゆり北周辺も静かだ。家でおとなしくしている。のんびりするのには久々だ。思えば去年はY2Kで正月どころではなかった。これが本来のお正月だ。

1/2 義兄夫婦のもとへ年始。長男は風邪でダウン。一人残して出かけた。夜、妹夫婦と過す。未だ〇歳の甥っ子は、私を見ると泣くのに子供たちでは泣かない。なぜ？

1/3 夕方まで妹夫婦と過ごす。今日ものんびり。心なしか太った。1/5 賀詞交換会。今日が仕事始めのところが多い。夜、仕事を終えた仲間からの電話で集まる。みんな仲が良いものだ。今年も宜しく。

1/6 家族十近所の子供たちで映画（ダイナソー）に行く。第一子が生まれてからというもの、「アンパンマン」だの「ドラえもん」だの、そんな映画しか見ていない。妻と二人で映画に行ったのは何年前だろう。映画の後、ボーリングをし外食。

1/8 成人式出席。雪で晴着の新人がかわいそう。明日で冬休みもお終い。今年ものんびりやろう。

第九を歌って

細永イチエ

広報いたばしの「いっしょに第九を歌ってみませんか」の文字を見て、参加してみようと思い、必要事項の他に「現在事務員として働いています。私は七十才ですがとても元気です」と書き添えて応募葉書を出しました。幸いにも参加できることになり、七月から週一回二時間の練習が始まりました。音譜も読めない、楽譜の記号もよくわからない私は最初の日、不安で胸が痛くなる思いでした。が、戴いた日程表を開いて見ると、参加者三十一人のうち一三〇人が初心者です。その中で私が一番年長ですが、不安なのは私だけではないと思うと、スーッと気持ちが楽になりました。練習は柔軟体操から始まり続いて、腹筋を使って発声練習です。腹筋を締めて胸の中の息を押し出して発声し、その反動で息が自然に又胸にはいつてきて、おなかもふくらむのですが腹筋の動きが反対になる人がいたりして繰返しの練習で汗びっしょりでした。鼻の穴と目を大きく開いて、頬骨を上に上げ獅子の様な顔をして！ハイどうぞと発声を指示なさる先生の顔の下半分が髭なので、お祭りの獅子そっくりになり、会場は笑いの

渦です。Y子先生の澄みきった美しいソプラノに、感嘆の吐息をもらしながら、楽しい練習の日々が過ぎてゆき、本番に向かって次第に自信と、幸せな気持ちが高くらんでいきました。若い友達が何人もできて、昼間の仕事の疲れも覚えず、練習日が待たれる毎日でした。十二月に入って、指揮者合せ、オーケストラ合せ、ゲネプロもすんで、いよいよ本番。レースが美しい白のブラウス、黒のロングスカートを身につけ、山台に並んだ私達の前には、オーケストラの様々の楽器が所せましと並び、会場一杯のお客様の中には私の友達や家族の顔も！幸せとほこらしさの中、オーケストラと、指揮者のタクトの動きに合せて、歓喜の歌を、高らかに歌いました。鳴り止まない拍手の中で、きつと私は、生涯で一番幸せな笑顔をしていたと思います。

これは、最初に第九を歌った時のことを書いていますが、昨年は、国技館の五〇〇〇人の合唱の他、演奏会に、計四回参加して第九を歌いました。その間かぜの一回もひかず、元気に生き生きと過せたのは、大きな声で歌い、多くの人達とふれ合って、楽しく過してきたからだと思っています。家にじっとしてないで、幾才になっても、思い切って、一歩外にふみ出して…と



第九を熱唱する細永さん